

大舞台へ全力誓う



第11回 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 出場 岩手奥州胆沢バレーボールクラブ チームはひと

奥州胆沢クラブ

全国スポ少バレーボール交流大会 27日、和歌山で開幕

小学生バレーボールの「第11回全国スポーツ少年団交流大会」が27日、和歌山県で開幕する。本県女子代表として出場する「奥州胆沢バレーボールクラブ」では、近づく大会を前に仕上げが急ぐ中、本番を見据え「一つでも多く勝たたい」とメンバーの猛練習が続いている。



高い得点力を誇る高田帆南(若柳小5年)



セッター高橋あおば(若柳小5年)のトスワークに期待



強力なスパイクでチームを引っ張る佐藤美夢(水沢小6年)

スポーツDXは毎週木曜日掲載

金ヶ崎男子が準V

ホープビレ杯中学生バレーボール

女子準優勝 胆江選手も活躍

2016希望掲げ 業一第2回ホープビレ 胆江大会は15、16 県内4会場で行われ、団体少年男女強化事業 レカップ中学バレー、日、江刺西体育館など、男子は湖江(東京)



都が決勝で金ヶ崎を下し、2年連続の回目の優勝。女子は、胆江の千葉裕菜(2年)が主将を務める岩手選抜ジュニアが決勝まで駒を進めたものの、三沢一(青森県)に敗れた。男子は、胆江地区から金ヶ崎男子の島山悠太(2年)、中野夢馬(2年)、女子は千葉裕菜(岩手選抜ジュニア)が選ばれた。女子の金ヶ崎は、予選1次、2次とも全勝で1位通過。決勝トーナメント準決勝では見事、前南にストレート勝利の戦力強化を目的に、12(平成24)年度から3年計画で実施。本県上位校のほか、県外から参加する。決勝戦に臨んだが、18

女子は岩手選抜ジュニアで練習を重ねてきた。決勝トーナメントに進出。準決勝で大船渡一を2-0で下し、強敵・三沢一との決勝戦に臨んだが、終盤の追い上げも届かず、ストレートで敗れた。

経験、自分のチームへ 女子 岩手選抜 昨夏のトライアウトで選抜されたメンバーで構成する同チーム、胆江地区から千葉裕菜主将(前沢2年)、吉田愛(前沢2年)、本開菜月(金ヶ崎2年)がチーム入りし、月1回のペース

- △1次予選
 - △Aブロック ①湖江 ②前南 ③胆江 ④大船渡
 - △Bブロック ①前南 ②胆江 ③大船渡 ④湖江
 - △Cブロック ①大船渡 ②湖江 ③前南 ④胆江
 - △Dブロック ①胆江 ②大船渡 ③前南 ④湖江
- △2次予選
 - △Aブロック ①湖江 ②前南 ③胆江 ④大船渡
 - △Bブロック ①前南 ②胆江 ③大船渡 ④湖江
 - △Cブロック ①大船渡 ②湖江 ③前南 ④胆江
 - △Dブロック ①胆江 ②大船渡 ③前南 ④湖江
- △準決勝
 - ①湖江 ②前南
 - ③胆江 ④大船渡
- △決勝
 - ①湖江 ②前南

て、さらさらのよいきたい。試合中も、「つなぎを大切に、一つでも多く勝ちたい」と、いま一度チームに気合を入れる。6年生にとって全国大会は小学校最後の大会。力強いプレーで攻撃を引っ張る佐藤美夢は「県の代表としてチームを引っ張りたい」と、流れを変えたいと、ピンチサーブとして期待される津田舞水(水沢小6年)も「サーブをきんと入れて得点狙ってほしい」と意気込み、どのポジションでも攻撃参加する高田帆南の活躍が、粘り強い守備力もまたレベリングアップ。チーム一丸となつてを目指す。全国大会の部には、岩手県代表として出場する。チームはひとりで、山田悟史